



ハンドボール女子競技に出場された選手の皆さん

9/14 第79回熊本県民体育祭天草大会

9月14日(土)～22日(日)に天草地域を中心に県内各地で開催され、宇土市から田谷優光団長(市体育協会会長)を中心に22種目339人の選手団が出場し、激闘を繰り広げました。その中で、アーチェリー、砲丸投男子(40才～49才)、水泳男子50m自由形(65歳以上)、水泳男子50m背泳ぎ(25歳未満)、水泳女子50m背泳ぎ(45歳以上)およびハンドボール女子競技(今大会から公開競技に変更)で見事に優勝を収めました。男女総合成績は9位(前回11位)でした。



左から順にアーチェリー競技に出場された選手の皆さん、水泳男子50m背泳ぎ松本健斗選手、水泳男子50m自由形本田英二選手、水泳女子50m背泳ぎ清藤留美子選手、砲丸投男子佐田徹選手



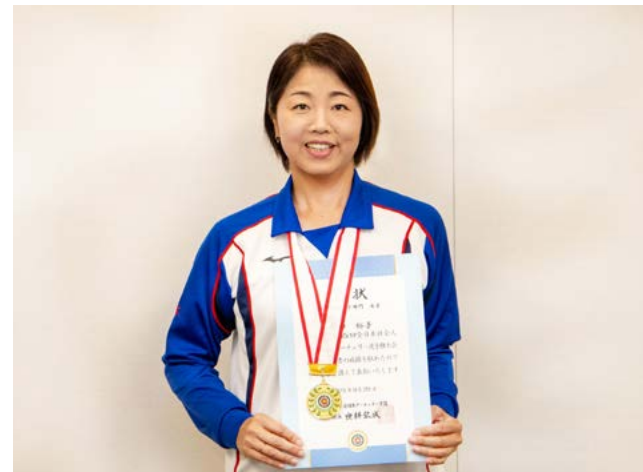
受賞された吉田勝彦さん(左)、松下敏親さん(右)

9/14 県スポーツ功労者表彰を受賞

県民体育祭天草大会開会式内で、市から2人が県スポーツ協会スポーツ功労者表彰を受賞しました。松下敏親さんは、市や県のバレーボール協会の要職を歴任され、協会の安定的な運営基盤を築き、国内・県内バレーボール競技の普及・振興にご尽力されました。吉田勝彦さんは、長年地元地区の体育協会役員として活動された後、8年間市体育協会会長として市のスポーツ運営・企画に携わり県スポーツ協会理事として県全体のスポーツ振興および健全な発展に貢献されました。

10/3 アーチェリー全国大会優勝

櫻田裕子さんが、市役所を訪れ、元松市長に9月28日、29日に山梨県で開催された第45回全日本社会人フィールドアーチェリー選手権でコンパウンド女子部門で16年ぶり2度目の優勝を果たしたことを報告されました。来月次の全国大会を控える櫻田さんは、「あまり気負わずに、今後も楽しみながら競技に取り組んでいきたい。」と話されました。



全国大会で優勝された櫻田裕子さん



熊本の代表 SAGA2024 国スポに 22 人が出場

9月26日(日)にSAGA2024国民スポーツ大会(旧名称:国民体育大会)の出場者激励会が開催されました。激励会では、選手を代表して少女女子ハンドボールに出場する河上亜里沙さんが「県代表としてのプライドと誇りを胸に、宇土市民の皆さんの期待に応えられるよう、全力で戦ってきます。」と宣言されました。

出場選手(監督)紹介

1_福田詩選手(新体操)、2_福田蓮選手(新体操)、3_村上裕一監督(セーリング)、4_大和佳以選手(セーリング)、5_光永雅翔選手(セーリング)、6_米村謙伸選手(陸上円盤投)、7_田口貴翔選手(ハンドボール)、8_岩本颯斗選手(ハンドボール)、9_松本聖選手(ハンドボール)、10_内快斗選手(ハンドボール)、11_秋吉快生選手(ハンドボール)、12_河上亜里沙選手(ハンドボール)、13_内山穂乃佳選手(ハンドボール)、14_中川りのあ選手(ハンドボール)、15_高山由衣選手(ハンドボール)、16_木村碧心選手(ハンドボール)、17_本郷蒼空選手(卓球)、18_坂崎愛華選手(卓球)、19_野田真一郎監督(ウエイトリフティング)、20_花岡真生選手(相撲)、21_坂田俊輔選手(相撲)、22_倉岡優太選手(相撲)



パソコンでキャラクターを作る児童

9/27 網田小・中プログラミング教育

「キャリア・スキルアップ教育」の研究指定校に指定した網田小・中でプログラミング教室が実施されました。この取り組みは子どもたちが楽しみながら基本的なプログラミングのスキルを学び、将来に役立つITリテラシーを身につけることを目的として開催され、参加した神谷龍ノ助さん(網田小6年)は「キャラクターを思う通りに動かしたり、絵を描いてキャラクターを作るところが楽しかった。」と話されました。



ステージで披露されたダンスに多くの人が集まりました

9/29 うとピクニックマルシェ

うとピクニックマルシェが宇土市役所敷地内みんなの広場であり、市内外から多くのキッチンカーや雑貨店があつまりました。ステージでは、ダンスや太鼓演奏、くまモンや行長しゃんのステージが披露され、会場を盛り上げました。

報資材・備蓄飲料 寄贈



宇城広域連合消防本部島松一歩消防長（左）、宇土ロータリークラブ 作守順子会長（右）

10/9 水 広報・備蓄資材を宇城広域連合消防本部に寄贈

宇土ロータリークラブ（作守順子会長）が宇城広域連合消防本部に熱中症予防や火の用心を呼びかける懸垂幕計2枚と備蓄用飲料水を寄贈されました。作守会長は、「市民の安全を守っている消防隊員がスムーズな活動ができるよう活用してほしい」とあいさつされました。



前田教育長（左）、宇土ライオンズクラブ日隈雄太郎会長（右）

10/7 月 入学準備金給付基金として宇土市教育委員会へ寄附

宇土ライオンズクラブ（日隈雄太郎会長）から学資支弁困難な高校生・大学生など向けに給付金を支給し、向学心の高揚を図り社会的に有用な人材を育成することを目的とした事業にご寄附いただきました。



西田鉄工株式会社大淵憲二代表取締役（左）

10/1 火 献血功労団体に対する表彰を伝達

献血功労団体に対する表彰伝達式が市役所本庁で行われ、日本赤十字社感謝状を受賞した西田鉄工株式会社に感謝状の伝達を行いました。

これは、長年継続的に献血または献血推進活動に協力した団体を表彰しているもので、このたび50年以上にわたる活動に対して感謝状が贈られました。



一般社団法人ジャパンネーブル協会の皆さん

10/4 金 一般社団法人ジャパンネーブル協会が市役所を訪問

一般社団法人ジャパンネーブル協会（代表：堀内勇一さん）が市役所を訪れ、網田地区で特産品網田ネーブルを栽培する農家7人が「100年受け継がれた網田ネーブルを100年先につなぐ」を目的としてを設立したことを元松市長に報告されました。堀内さんは、「ネーブルは味と香りが抜群に良い柑橘です。協会では、生産だけでなく、地域貢献にも力を入れていきます。」と話されました。



鶴城中横の武道館で行われた宇土御獅子舞

10/19 土 西岡神宮秋季例大祭が開催されました

今年の「宇土御獅子舞」は、雨のため場所を変更して鶴城中横の武道館など市内3か所で舞が披露されました。県指定重要無形文化財の「宇土御獅子舞」は、1740年に宇土藩主の細川興文公が長崎に家臣を派遣して中国伝来の獅子舞の方を研究し、さらに工夫を重ねて完成したのが始まりとされており、現在では本町1丁目の住民を中心とした保存会により継承されています。



左から小田さん、宇土市消防団伊豫団長、石井さん

10/18 金 宇城管内消防団員意見発表会

宇土市民会館で第9回目となる宇城管内消防団員意見発表会がありました。宇城地域の3市町の消防団から選抜された6人が消防団の役割やこれからの活動目標について発表しました。宇土市からは、第1分団（宇土）の石井孝さんと第2分団（花園）の小田宗裕さんが出場し、石井さんが優秀賞に選ばれました。



大きくなってほしいと願いを込めて放流しました

10/6 日 網引町でホタル幼虫放流

網引公民館付近の川で源氏ホタルの幼虫約1,200匹が放流されました。この活動は、網引創会（代表：松下秀市さん）が今年初めて行ったもので、地域の子どもたちと一緒に行われました。網引創会は、12年前からコロナ禍を除き毎年5月末頃に網引の川沿いでホタルの鑑賞会を行っています。放流されたホタルの幼虫は、網引町のホタルのつがいから生まれた卵を育てたものです。

る被災者への支援協力に関する



三共コンサルタント株式会社松尾喜久男代表取締役（左）

10/7 月 災害時における被災者への支援協力に関する協定を締結

三共コンサルタント株式会社と災害時における被災者への支援協力に関する協定を締結しました。協定締結により、三共コンサルタント株式会社は、災害時に地域住民に対して供給可能な範囲で生活用水としての井戸水の提供や電気自動車からの電力の供給が行われます。